

いちやり場通信

October 2026
No.92

国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール 沖縄県地方大会



国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール

沖縄県地方大会

9月12日(土)、沖縄産業支援センターにて「2026年度国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール沖縄県地方大会」を開催しました。一次審査を通過した8校8名の弁士が登壇しました。

コンクールでは、参加者一人ひとりが自身の経験や体験を基に、「生まれや宗教、性別に関係なく、一人ひとりが自分らしく生きることのできる国際社会の実現に向けて。」や「今年は新たな国連事務総長が選出されるが、もしあなたが次期国連事務総長に選ばれたら国連をどのような組織にしたいか。」といったテーマについて、熱のこもった弁論を繰り上げました。



公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation (OIHF)

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐3-4-1 3階

HP : <https://kokusai.oihf.or.jp>

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220

FB : <https://www.facebook.com/oihf60>



島袋 莉安さん



有嶋 奎二さん



会場の様子

最優秀賞 (沖縄県国際交流・人材育成財団 理事長賞)

沖縄県立開邦高等学校 (2年) 島袋 莉安さん

優秀賞 (沖縄県高等学校文化連盟弁論専門部 部長賞)

沖縄県立豊見城南高等学校 (2年) 有嶋 奎二さん

優良賞 (沖縄県人権擁護委員連合会 会長賞)

沖縄県立那覇高等学校 (2年) 與那覇 瑞姫さん

優良賞 (沖縄県ユネスコ協会 会長賞)

沖縄尚学高等学校 (2年) 宇栄原 花音さん

最優秀賞受賞者の島袋 莉安さんは、10月26日(月)に国連大学エリザベス・ローズ国際会議場(東京)で開催される中央大会へ派遣されます。

ご応募いただき、ありがとうございました。また入賞された皆様おめでとうございます。

来年も多くの皆様のご応募をお待ちしております。

国際理解・国際協力のための 中学生作文コンテスト 沖縄県予選

外務省・公益財団法人日本国際連合協会主催の本コンテストの中央審査会へ出品する作品を決めるため、11校69篇の応募があった中から、沖縄県予選により、現行審査を経て入賞者が選定されました。最優秀賞の吉平 陽葵さん、優秀賞の照屋 心菜さんの作品は、10月中旬に開催される中央審査会(本選)へ出品します。

最優秀賞

沖縄県立開邦中学校 (3年) 吉平 陽葵さん

優秀賞

豊見城市立豊見城中学校 (1年) 照屋 心菜さん

たくさんのご応募ありがとうございました。また入賞者の皆様おめでとうございます。



佳作

沖縄県立開邦中学校 (1年)
中村 柚菜さん

豊見城市立豊見城中学校 (2年)
上地 姫花里さん

豊見城市立伊良波中学校 (1年)
上原 陽菜さん

災害時外国人支援サポーター養成講座 in 北谷町

令和8年8月14日(金)、「令和8年度災害時外国人支援サポーター養成講座」を北谷町北前の北前区公民館で開催し、30名が参加しました。

災害時には実際に避難所となる公民館を会場とし、受講者は実際の避難所をイメージしながら、外国人が災害時に抱える困りごとや支援について学びました。また、ハザードマップを確認し、避難経路についても考えました。

講座の後半では、避難所運営訓練として、受付係と外国人被災者役のロールプレイを実施。ビブスを着用し、実際の受付票や指しシートを使った受付対応に加え、国籍や話せる言語、被災状況などが記載された「ペルソナカード」をもとに、外国人被災者役を体験しました。

参加者同士の意見交換も活発に行われ、和気あいあいとした雰囲気の中、実際に体験することで多くの気づきを得ながら、災害時に外国人を支援するための視点を学ぶ機会となりました。



受講者からの声

外国人目線になって色々な人の意見が聞けたので、今後災害が起こった際にそれを思い出して対応出来そう。

実際に避難所を運営したことで、外国人、アレルギーを持った方、ペットと避難してきた方など、様々な立場の人がいることを知れた。

英語で通じると言う先入観を捨てる事。

実技もあり問題点がわかった。



Q

災害時外国人支援サポーターとは？

A

平成28年度から、当財団では、「多言語支援センター」*の活動にご協力いただける「災害時外国人支援サポーター」の養成講座と訓練を実施しています。

大規模災害が発生した際には、多言語支援センターからサポーターの皆さまへご協力をお願いすることになります。

サポーターになるために、特別な資格は必要ではありません。実際、多種多様な職業の方や立場の方にご参加いただいております。

また、外国語が得意な方だけでなく、多くの方が「やさしい日本語」を活用して活動されています。

令和8年9月3日時点、宮古・石垣を含め約140名の方が登録しています。

毎年、災害時外国人支援サポーター養成講座を開催していますので、皆さまのご参加・ご登録をお待ちしております。

Q

多言語支援センターとは？

A

沖縄県災害対策本部が設置される大規模災害発生時に、沖縄県からの要請を受けて、当財団は「多言語支援センター」を立ち上げます。

多言語支援センターは、災害時外国人支援の活動拠点となります。同センターは、当財団、宜野湾市役所、またはJICA沖縄のいずれかの場所に設置されます。

多言語支援センターの役割

1. 多言語による災害情報などの翻訳・発信
2. 外国人からの相談・問合せへの多言語対応
3. 外国人の被災・避難状況などの情報収集
4. 外国人支援に必要な職員の派遣・サポーターへの協力依頼 など



日本語ボランティア講座



ー地域とつながる日本語教育ボランティアのこれからを考えるー

令和8年8月19日(水)、「日本語ボランティア講座ー地域とつながる日本語教育ボランティアのこれからを考える」をオンラインにて開催しました。当日の参加者は26名、講師には、NPO法人国際活動市民中心（CINGA）の新居みどり氏をお招きし、国内における地域日本語教育の大きな流れや、地域の日本語教室が果たす役割についてお話しいただきました。

本財団では長年、外国人住民の日本語学習を支援する取り組みとして、日本語教室を運営しています。今年度からは、日本語教室の在り方に「地域日本語教育」の考え方を少しずつ取り入れています。

地域日本語教育とは、日本語を学ぶことを通して、外国人住民が地域とつながり、地域社会の一員として生活や社会参加ができるよう支援する考え方です。

本財団の日本語教室では、外国人住民が地域社会の一員として自立した生活を送れるよう、生活に必要な基礎的な日本語を教えています。教室では、日本語教師に加えてボランティアの方々が受講生の会話練習の相手をしたり、沖縄の習慣や地域の話題を取り上げたりするなど、日本語を学ぶだけではない交流の場にもなっています。

新居氏からは、「地域の日本語教室は日本語だけを勉強する場所ではありません。情報交換、異文

化理解、生活上の問題解決、そして、人々が集い交流する場所としての役割があります。公民館やコミュニティセンターなど、地域の身近な場所に日本語教室があることで、外国人住民が地域とつながり、社会参加するための『入り口』になります」とのお話がありました。

外国人住民が増え、地域の多文化化が進む中で、地域日本語教育の重要性は今後ますます高まることが期待されます。本財団も、地域の実情に合わせながら、外国人住民と地域をつなぐ日本語教室の在り方を考えていきます。日本語ボランティアとして活動されている方々、そしてこれから活動を始めようとする方々とともに、地域日本語教育の取り組みを少しずつ広げていきたいと考えています。



ウェビナー開催にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

参加者の声

学校でも外国籍をもつ生徒が少しずつ増えているので、言葉だけでなく病院の受診などどうしているのかなと気になっていました。国としてどのように対応しようとしているのか、なんとなく理解できました。今後、共生に向けて何かしらの活動に加わりたいです。

地域日本語教室は、日本語を習得するのがゴールではない。社会参画を目指すための日本語として大切だと理解することができました。賛同者・協力者を増やしていきながら、誰もが安心して過ごしていける沖縄県になるようにできることに取り組んでいきたいです！

沖縄市で地域日本語教室を運営しています。日本語学習の問い合わせが多い在留資格に対応できるよう、時間や教室スタイルを変えて2つの教室を作りましたが、この方法でいいのかな？と迷うことがあります。現在進行形で動いている国の取り組みや、沖縄県の現在地を知ることができてとても参考になりました。

また、挙げていただいた他府県の事例から、受講生と日本語サポーター、関係団体だけではなく、地域と結びつけることの重要性を知ることができました。現在運営している日本語教室がこれからも継続できるよう、市へ働きかけをしていきたいと改めて思いました。

新居さま、OIHFのみなさま、貴重なお話とこのような場を作ってください、ありがとうございました。

日本語教室

当財団では令和8年度、沖縄県内に在住する外国人等（日本語学習を必要とする日本国籍を有する者も含む）を対象に「日本語基礎対面クラス」を実施しています。本教室では、沖縄県内に暮らす外国人等が地域社会の一員として安心して自立した生活を送ることができるよう、生活に必要な基礎的な日本語を継続して学ぶ機会を無償で提供しています。

今年度の教室は、水曜日の13時30分から15時30分で開講しており、3月中旬頃まで実施予定です。また、10月中旬ごろから学習者の追加募集を開始し、6名程度を受け入れる予定です。申し込み方法などの詳細については、当財団のホームページやSNSでお知らせしますので、ぜひご確認ください。

学習者の声

家や友だち、仕事で、新しい言葉を使うことができた。

身の回りで使われている日本語をより理解できるようになり、家庭以外でも日本人の方と交流する機会が増えた。

自分の名前を日本語で書けるようになり、授業で学んだ新しい言葉も使えるようになった。

食品のラベルを読めるようになったり、やさしい日本語なら理解できる場面が増えた。



OIHF日本語学習サポーター募集中!
日本語教室での学習をサポートしていただける方を募集しています



笠間由美子氏

外国人支援者向け 「在留資格の基礎知識」ウェビナー



7月15日、「在留資格の基礎知識ウェビナー」を開催しました。

本ウェビナーは、沖縄県で外国人支援に携わる方々を対象に、在留資格に関する基礎知識を分かりやすく解説し、外国人支援の現場で役立てていただくとともに、経験者にとっても知識の整理・更新の機会としていただくことを目的に、神奈川県行政書士会所属の笠間由美子氏を講師にお迎えして実施しました。

当日参加が難しい方にも受講いただけるよう、後日一定期間視聴できるアーカイブ配信を実施する形式としました。申込者は92名で、当日は39名が参加し、53名が後日配信を視聴する予定です。

当日は、「在留資格とは」「人生いろいろ～ライフステージの変化と在留資格～」「事例で検討」の3部構成でご講義いただきました。在留外国人を取り巻く現状や在留資格の種類、在留資格取得までの流れ、在留資格に関する基本的なルールなど、外国人支援に必要な基礎知識について分かりやすく解説いただきました。

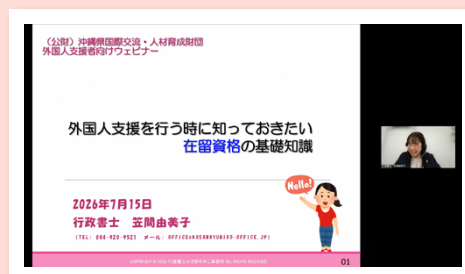
また、外国人が日本で生活していく中では、就職、結婚、出産、離婚など、ライフステージの変化に応じて在留資格について考える必要があることについても、具体例を交えながらご説明いただき、参加者の理解を深める内容となりました。

さらに、事例を用いた検討では、多様化・複雑化する外国人の課題に対応するためには、早期の相談と早めの準備が重要であることに加え、関係機関がそれぞれの役割を果たしながら連携し、日頃から地域にお

ける支援ネットワークを構築しておくことの重要性についてもご教示いただきました。

あわせて、最近の制度の動向についてもご紹介いただきました。2026年1月23日に内閣府が発表した「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」に触れ、在留資格審査の厳格化が進められる一方で、日本語教育の充実など、外国人が日本社会へ円滑に適應できるよう支援するための施策も進められていることについて解説いただきました。

質疑応答では、参加者からの様々な質問に対し、笠間氏がこれまでの豊富な実務経験を踏まえ、一つ一つ丁寧にご回答くださいました。外国人支援に対する真摯なお考えや姿勢が伝わるとともに、実務に役立つ具体的な助言をいただき、参加者にとって大変有意義な時間となりました。



参加者の声

在留資格に関する最新の情報や傾向、過去の事例などを詳しく知ることができ大変有意義でした。資料を読み上げるだけでなく講師の方がこれまでのご経験や知識を踏まえてお話してくださったのでとても理解しやすかったです。

在留期間更新を忘れた時の対応方法、特に在留特別許可が参考になった。正直に対応していれば、悪意が無ければ、以前から何らかの対応方法があるとは思っていた。事例の検討とライフステージに基づく考え方も大変参考になった。

子育て支援で外国籍のご家庭のサポートに入ることがあります。在留資格について無知だったため、大変勉強になりました。子と親の利益のために想像力を働かせて支援にあたりたいと思います。

笠間先生のセミナーとても分かりやすく、2時間弱あっという間に過ぎていました。噛み砕いた説明と、要点を重視したお話を聞けてとてもよかったです。また、資料も提供していただけているので、定期的に目を通すこと、詳細を自分なりに調べてみようと思います。

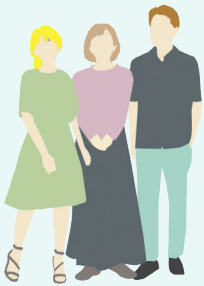
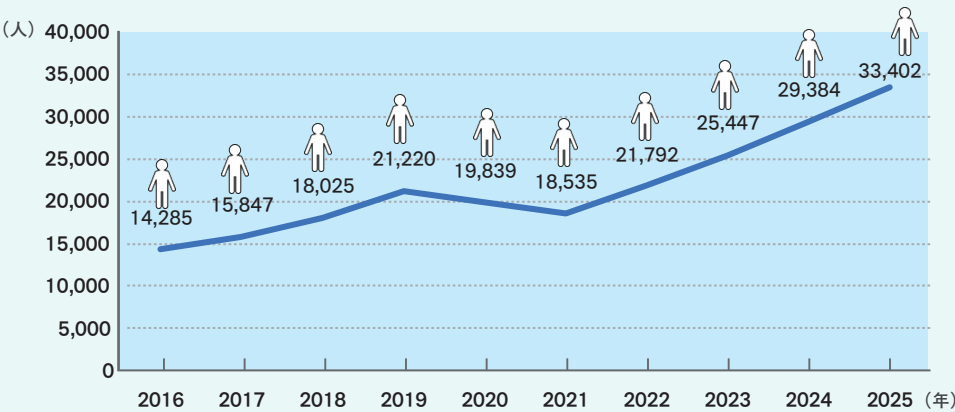
外国人のリーガルサポート兼通訳をOIHFさんを通して不定期に担当しているので、情報の更新も兼ねて今回ウェビナーに参加しました。新しい情報や現状、実際の例やお話を聞けて、在留資格に関する事情が以前より複雑化および多様化しているなと思いました。

沖縄と内地の外国人の人口比率が異なる点がとても興味深いと思います。沖縄県内で米国人だけでなく、様々な国からいらした外国人の方を目にする機会がとて多くなりました。短期滞在の方も中長期滞在の方も今後どんどん増えると思います。助力ながらそのような方々の在留資格に関する支援が少しでもできればいいなと思います。

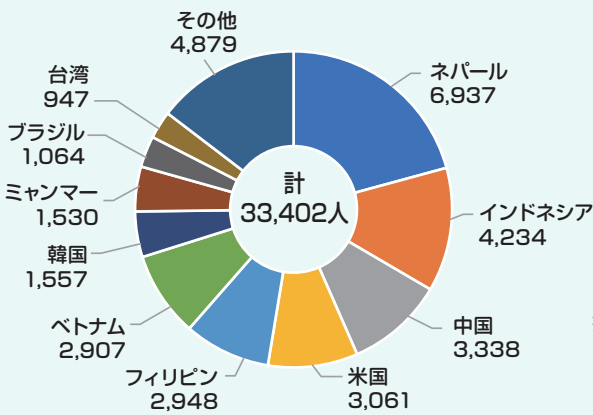
【2025年12月末時点 沖縄県在住外国人統計】

※軍人・軍属は含まない 参考:出入国管理局HP 在留外国人統計

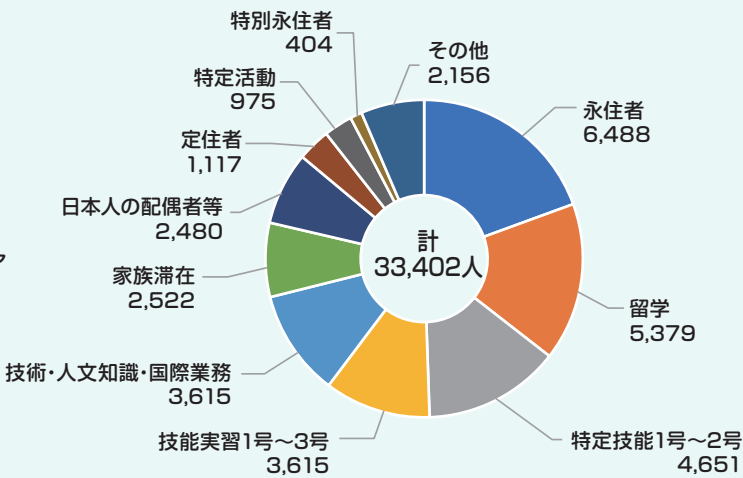
沖縄県在住外国人人口推移 10年(2016年～2025年)



沖縄県在住外国人 国籍・地域別人数



沖縄県在住外国人 在留資格別人数



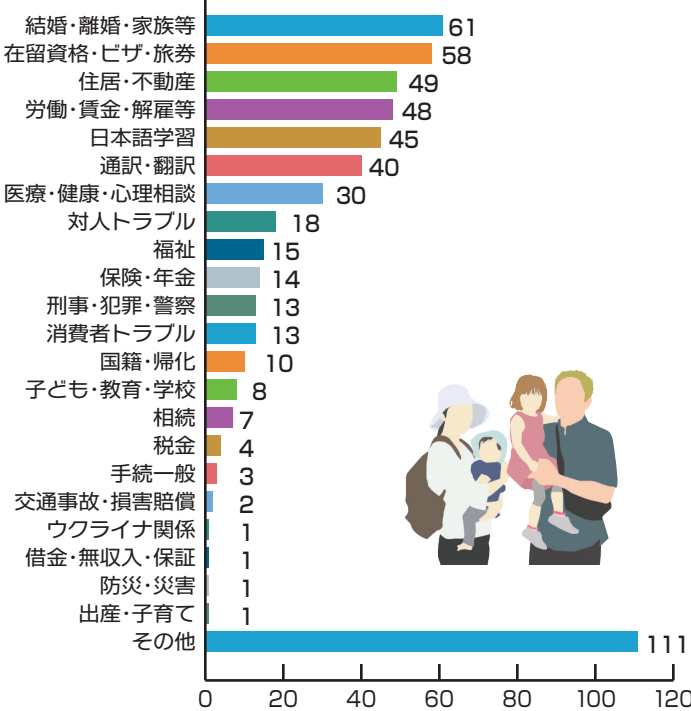
R7年度 OIHF 外国人相談窓口相談件数統計

令和7年度外国人相談窓口の相談者国籍・地域及び相談内容件数(令和7年4月1日～令和8年3月31日)
※令和7年度から集計方法を変更しました。同一相談者による同一案件でも、相談日が異なる場合はそれぞれ計上します。
また、1回の相談で相談内容が複数ある場合は、カテゴリーごとに計上します。

〈相談者国籍・地域 総計 553〉

国・地域	件数	国・地域	件数
アメリカ	82	チュニジア	4
中国	28	アフガニスタン	4
フィリピン	27	ウクライナ	4
韓国	17	ラオス	3
ブラジル	17	フランス	3
日本	13	アフリカ諸国	3
タイ	12	モザンビーク	3
イギリス	10	ミャンマー	2
ネパール	9	トルコ	2
シエラレオネ	9	アルゼンチン	2
インドネシア	8	インド	2
モロッコ	5	ベラルーシ	2
台湾	5	アイルランド	1
ベトナム	5	イタリア	1
パキスタン	5	スリランカ	1
ペルー	4	ドイツ	1
南アフリカ	4	不明	255

〈相談内容 総計 553〉





外国人のための 無料法律相談会



6月に糸満市役所で、また8月に北谷町役場で、役所や役場の一角をお借りして外国人のための無料法律相談会を実施し、外国人の方々やその家族等が弁護士に無料で相談をできる場を提供しました。

糸満市での相談会は、事前に4枠すべての相談枠が予約で埋まりましたが、当日は3件のキャンセルがあり、実際に実施した法律相談は1件でした。北谷町での相談会では、事前に4枠すべての予約が埋まり、当日は予定どおり全ての法律相談を実施しました。相談を通して、弁護士から専門的な助言を受け、今後どのように対応していくべきか、方向性を確認することができました。

無料法律相談会は、今後も引き続き実施する予定です。令和8年度は、あと2回の開催を予定しています。詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。

日本語での相談が難しい方にもご利用いただけるよう、できる限り通訳を手配できるよう努めています。お近くに、生活や法律に関することでお困りの外国人の方やそのご家族がいらっしゃいましたら、ぜひOIHFをご案内ください。



糸満市役所

受付



相談
テーブル



北谷町役場



OIHFでは、普段から 生活相談を受け付けています

OIHFでは、沖縄県内に在住する外国人およびそのご家族が安心して生活できるよう、各種相談を受け付けています。また、法律など専門的な助言が必要と判断される場合には、沖縄弁護士会と連携し、1回限りの無料法律相談を提供しています。



生活相談

相談料：何回でも無料

相談方法：電話やメール、対面、フェイスブックのメッセージなど



対応時間：平日9:00～17:00(祝日を除く)

法律相談

相談料：弁護士への相談料、通訳者への謝礼金および交通費は、初回に限り無料(OIHFが負担します)。※原則として、同一の相談内容につき1回限りの対応となります。

相談方法：原則弁護士事務所での相談

対応時間：平日での対応となり、日時の指定はできません。(手配には通常1～2週間かかります。)



医療通訳支援

OIHFでは、県内在住外国人の方々に対し、安心して医療機関を受診できるよう、医療通訳者を紹介しています。

依頼方法

通訳希望日の5日前(土日祝日除く)までに、HPオンラインフォームより申し込む

対象言語

英語、中国語

紹介範囲

沖縄県内。離島地域については、必要に応じてZOOM等でも対応する。

利用者負担

医療通訳者への謝礼金
1時間あたり2,000円及
び医療通訳者の交通費

外国語対応医療機関

また、医療通訳者の紹介のほか、沖縄県内の外国語対応医療機関をリストアップし、ホームページで公開しています。

沖縄県外国語対応医療機関
OKINAWA MEDICAL
INFORMATION



OIHF法人賛助会員様

(順不同)



沖縄県商工会連合会

パシフィックホテル沖縄

